



濱 克弥 理事長

理事長プロフィール

日進月歩の治療技術を習得するために常に努力し、センスを磨き続けています。「仏作って、魂入れず」にならないよう、スタッフ一同切磋琢磨しています。

日本一般臨床医矯正研究会/日本歯科医療管理学会/日本顎咬合学会/日本口腔インプラント学会/東京歯科保険医協会 理事



● 医療法人社団 峰瑛会 市ヶ谷番町歯科クリニック

理事長 濱 克弥 院長 池田 邦彦
 住所 〒102-0076 東京都千代田区五番町1-9
 MG市ヶ谷ビルディング2F
 電話 03-5212-7447
 URL http://www.11855.jp
 MAIL JZA06140@nifty.com
 診療内容 小児歯科・矯正歯科・クリーニング・インプラント・審美歯科・義歯(入れ歯)・ホワイトニング・歯周病・パーフェクトベリオ治療
 診療時間 月～金 9:30～13:30 14:30～18:30
 土 9:30～13:30 14:30～17:00
 休 日 日・祝祭日



「あいさつ」「掃除」「感謝」のモットーは、スタッフのみならず自らも提案、実践しているそうです。快活な笑顔には、バイタリティーがあふれています。



温かいライトの光に包まれ、落ち着いた雰囲気の院内。緊急時に備えAED(除細動器)が設置しており、救急対応の研究を受けたスタッフが常動しているので安心です。



衛生面に配慮がなされており、特に患者さんに直接触れるものは、使い捨てもしくは滅菌処理が行われています。歯科用CTやレーザーなど最新機器も取り入れられています。

また、治療以外にも歯科医院に通うことでメリットがあるとか。
 「子どもさんにとっては一人であること、お使いと同じで、「二人で行って来た」と自信がつくんですよね。診察券を出して、診察を受けて、お金を払うことで意外と貴重な体験なんです。自信がつくことで自立心が生まれ、矯正を受けるモチベーションが上がることにもつながるのだと思います」
 子ども成長を温かく見守り、誠意と熱意に溢れる治療が受けられる、市ヶ谷番町歯科クリニックです。



医療法人社団 峰瑛会 市ヶ谷番町歯科クリニック

お子さんが健康に生涯を送れる
 お口の状態を獲得、維持するために
 成長に合わせて歯を抜かずに治療

大人の歯並びを診ていて感じた
 小児矯正の大切さ
 歯をできるだけ抜かずに並べたい

「歯科医として、歯並びがすごく悪かったり、歯周病などで歯が抜けてしまった成人の患者さんを毎日何人も診ていて、「もっと早くにどうにかならなかったのかな。こうなる前、もとはどんな口腔状態だったんだろう」と思っていました。当院の患者さんにはお子さんも多く、子どものうちなら、口腔状態の悪化の兆候を早く発見できると考えました。そんな理由から濱克弥理事長は、小児矯正に力を入れたのだそうです。

「最終的な目標は抜歯しないです。歯を、本来の正しい位置にきちんと並べること。矯正器具は段階的に床矯正から始めて、部分ブラケット、D装置、全顎ブラケットの順に進み、永久歯の抜歯はなるべくしないようにしています。顎のズレの少ないうちであれば、クリアアラナイ(着脱できて透明なマウスピース)による矯正も可能です。そのためにも、できるだけ早いうちから治療していくことが大切だと思います。反対咬合の場合は、3〜4歳からの治療をお勧めしています」

日進月歩の
 治療技術を習得するために、
 努力とさらにセンスを磨く

「私が矯正の勉強を始めたのは、矯正の関心が高く、噛み合わせの重要性についても豊富な知識があるお母さんたちに質問されて、答えられないことがあったからなんです」
 そのときの悔しさと患者さんへのよりよい診療のために、矯正の基礎から学んだそうです。現在も、学会、講習会、研修会には積極的に参加して、治療技術のスキルアップに一生懸命です。院内での勉強会も熱心に行っているそうです。

「歯科医師と歯科衛生士がチームを組み、治療と予防をバランスよく行う診療スタイルで、日進月歩の歯科医療に対応できるような研鑽をしています」
 濱理事長が考える、矯正で一番大切なことは「噛み合わせと見た目のバランス」だそうです。
 「噛み合わせが全身に及ぼす影響は、非常に大きいと思います。実際にこの幅を少し拡大しただけで、脊柱側弯症だったお子さんが、全体の先生が驚くほどの症状の改善がみられたという例もあります」